

# 日高ぐるぐるねっとへようこそ!



「日高ぐるぐるねっと」は、足元の暮らしを見つめ直し、地域の中にある豊かな自然資源を活用しながら、食とエネルギーの自給・循環型の暮らしを進め、自立した豊かな暮らしをみんなの力で築いていくことに取り組んでいます。

2011年3月11日、東日本を襲った未曾有の大震災そして原発事故を受け、日高市内に住む有志が集い、「東北応援隊」というグループが生まれました。

被災地への物資の支援、つながりのある生産者の方から産品を仕入れて販売し、その収益をまた被災地へ還元する活動、現地へのボランティア活動など、私たちにできることをできる範囲で進めてきました。それと同時に、自分たちの足元の暮らしを見つめ直すことも必要なのではないか、という声から生まれたのが、地域循環型の暮らしを進める日高市民の会一連称「日高ぐるぐるねっと」です。

日高ぐるぐるねっとは、

自分たち自身の暮らしを見つめ直し、

足元にある豊かな自然資源（太陽・水・田畑・山林など）を

上手に活用し循環させながら、

人と人が手を携え、

次の世代に楽しく豊かな暮らしを残していくこと。

そして足元の地域から、日本へ、世界へ、取り組みを発信し、

希望の輪を広げていくこと。

これを目指しています。



# 主な取り組み

## 休耕地を活用した取り組み

### 菜の花プロジェクト

菜の花などの油糧植物を育てて油を絞ります。絞った油は食用にした後、廃油を回収して加工すると、バイオディーゼルという燃料になります。休耕地が油田に！

### 畑の学校

日高市在住の若手農家さんから野菜の育て方を学んでいます。その他個人で利用する区画や果樹を育てている区画もあり、個人として・地域として自給率UPを目指しています。

## 市民共同発電所プロジェクト

市民が少しずつ出資して、共同で発電施設を作ります。

自然エネルギーに関する勉強会を開催し、日高で利用可能なエネルギー（太陽光・河川・バイオマスなど）を検討しつつ、設置場所や運営方法を話し合っています。

## 山林・竹林の整備

荒れてしまっている針葉樹林を、間伐や落葉広葉樹への植え替えを通じて里山の復活を目指します。間伐材は子どもたちの遊具作りなどに活用します。

## 東北応援隊

日高ぐるぐるねっと発足のきっかけとなった、東北支援の活動。今年もつながりのある東北の生産者の方の製品の仕入れ販売や、現地の活動のお手伝いなどを行って行く予定です！

## 行政との協働

行政とも手を取り合って、地域全体で自然エネルギーを推進していきたいという思いから、2011年5月に日高市議会に自然エネルギー推進を求める請願を提出しました。日高市に自然エネルギー推進都市宣言をし、取り組みを進めて欲しい、という内容です。

請願は6月の議会で審議・採決が行われ、賛成多数で採択となりました。



# 休耕地の有効利用

## 畑の学校・松下生産塾



塾長は **松下倫之さん** (日高市在住)。

北海道で5年間の農業経験を経て、日高市で新規就農3年目。

一般農家から有機栽培農家まで、様々な生産者のもとで働きながら、勉強させていただきました。野菜づくりや農業を取り巻く現状、新規就農の難しさなど、様々な視点から皆様に情報発信できればと思います。

有機野菜の基本的な作り方をみんなで勉強し、情報交換や交流の場として**畑の学校**が始まりました。地元で手に入る有機肥料を主体に、なるべく化学肥料や農薬に頼らない栽培方法を実践し、より安全で豊かな野菜づくりを目指していきます。

赤ちゃんから定年を迎えられた方まで幅広い年齢層の参加者が約10家族。月に2~3回開催しています(活動日は不定期です)。場所は栗坪・小倉グラウンド横の1反ほどの休耕地をお借りして行っています。

今年度の栽培予定

じゃがいも・小松菜・かぶ・まうれん草・ミニちんげん菜  
ラディッシュ・トマト・きゅうり・なす・春菊・しょうが・枝豆  
ねぎ・きさげ などなど 盛りだくさん!!

## くるくる果樹園



2011年の秋、栗坪にたくさんの種類の苗木を、くるくるの仲間たちと植えました。

プラム・りんご・ブルーベリー・プルーン・ハスカップ・木苺  
柿・フェイジョア・甘夏・アモンド・いちじく・梨・かぼす など...

品種のわからない実生のももあります。数十センチから大きくても2メートルくらいの苗です。

まだまだずっと先、これらの果樹が木陰ができるくらいに大きく育ったら、その下で実った果実をかじり、お茶を飲み、ジャムを作りながらつろげたら…。そしてこれからのエネルギー・まちづくり・子育て・福祉・老後・食べ物…などについて、みんなで語り合えたらいいです。

日高のこの辺りは、青い空と清らかな流れがある、動物・昆虫・鳥などの生き物がたくさんいる自然豊かな地です(詳しい方、生態や名前を教えてください)。

果樹園作りを通して、ひとりひとりが生きられる地を作っていきたいです。



# 自然エネルギー

## 市民共同発電所プロジェクト



日高ぐるくるねっとで市民共同発電所の取り組みをしている長谷川です。

2011年3月の震災で起こった福島第一原子力発電所の事故により、私たちの生活は一変してしまいました。豊かな自然の恵みはことごとく放射性物質に汚染され、自然なものほど注意をしなければならぬととても残念で悲しい世の中になってしまいました。

それと同時に、私たちがエネルギーに対してどれだけ無関心だったかを気づかされました。

エネルギーとは何かを見つめ直し、自分たちの手で再生可能エネルギーを作りたいという思いで、市民共同発電所の取り組みを始めました。



所長の長谷川さん

これまでの活動は、1月から毎月1回の打ち合わせを行い、これまで勉強会で勉強してきた内容の整理や、ソーラーパネルを設置できる場所の候補地を参加者で意見を出し合い、可能性の検討を行ってきました。挙がった候補地は、日高市内の保育施設や福祉施設、そして参加者の個人宅も…。

資金や管理の方法等考えなければならないことはたくさんありますが、じっくり検討し継続的に活動できるようにしたいと思っています。皆様の積極的なご意見・ご提案をお待ちしています。

メーリングリストがありますので、こちらも参加をお待ちしています。参加希望は長谷川までお知らせください。

\* 連絡先 \* [hasegawa@piyo.org](mailto:hasegawa@piyo.org)

## 非電化工房見学ツアー



リーダーの藤村さん

2012年3月18日(日)、ぐるくるねっとの有志で橋本県那須町にある「非電化工房」へ見学ツアーに行ってきました。

「非電化工房」とは、快適、便利、スピードをもたらしてきた電気に依存しすぎず、ホドホドに快適、便利、楽しい生活スタイルを提案するテーマパークです。

代表は発明起業家の藤村靖之さん。私達を優しい穏やかな笑顔で迎えてくださいました。

放射冷却を利用した冷蔵庫、太陽熱を利用した飲料水殺菌装置、誰でもおいしくコーヒーを煎れる非電化コーヒー焙煎器、2日で1.5リットルの湿気を吸い取る非電化除湿機、等々、たくさんの非電化製品を見せて頂きました。

「仕方がないから我慢する『節電』とは違って、幸せ度を倍にしながら電力消費量を半減することができる『非電化』がライフスタイルに定着していけば、原発を必要としない社会になっていくかもしれません。」という藤村さんのお話がとても印象的でした。

もうすぐ非電化カフェがオープンする予定だそうです。とても楽しみです。またみんなで行きたいですね。

# 間伐材の有効利用

## 遊具づくり



日和田山周辺にあるスギやヒノキの間伐材を地主さんから分けていただき、清流地区にある「森の果樹園」に子どもたちが遊ぶ遊具等を作っていこうと考えています。

お借りしている場所なので、使わなくなって過分するときに苦労しないで済むもの、また、安全管理のしやすいものと考えていますが、メンバーに何を作りたいか聞いたところ、**ツグツグカス・滑車ロープ!!** など、なかなか大変そうな提案が…。<sup>2</sup>  
(そういうものが作れたらいいなあとは思っていますが)

まず手始めに、長さの違う木を間隔をあけて立てて埋め、その上を渡って遊ぶ遊具を作ってみようと思います。現在「森の果樹園」のヤギさんのお家の近くにあったスギの木を4、5本切り倒してもらいました。これを適当な(いい加減な、ではありませんよ)長さに切って地面に埋めていく予定ですが、ここへきて花粉が多く飛んできているので大変!

\*アイデア・労力等、遊具作りに参加していただける方募集中!

## 東北応援隊



2011年3月11日の東日本大震災の大きな被害に際し、日高市民や近辺の有志が集い、「東北応援隊」として支援活動を始めました。支援情報の共有、支援物資の提供、現地でのボランティア活動と報告、東北の物産品の販売、クラフト制作と販売、勉強会など、メンバーそれぞれの得意分野やつながりを生かして活動を広げてきました。

「東北応援隊」として活動することが、東北支援であると同時に、ここの暮らしをどうやっていくかという未来への展望を持てる場になればと願っています。また、いつか来るかもしれない災害時には、自分の命を守りお互いに助け合える環境づくり、ネットワークづくりをしたいと思っています。

<東北の美味しい物、素敵なお物たち、販売中!>

・海の手山の手ネットワーク(宮城県大崎市)

よっちゃんなんぼん 680円、手作り梅干し 500円、新聞バッグ 300円、オリジナルてぬぐい 1000円

・あすなろホーム(岩手県陸前高田市)

蒲焼 600円、イサダフレーク 350円

・復興支援チーム リオグランデ(旧 RQ、宮城県石巻市)

雄勝町名産のミサガ「マザー・ミサガ」1000円

・「東北応援隊」オリジナルブランド「Link\*Ring(リンリン)」のクラフト 100円~

\*連絡先\*

070・5576・3987 (池田)

・E-mail

hidaka\_1ohoku\_ouentai

@yahoo.co.jp

・mixiコミュニティ

「東北応援隊(仮)」で検索

<LINK\*RINGのご紹介>

応援隊の支援活動で寄付された布のうち、募集内容に合わなかったものや小さな端切れたちを、余すことなく使い尚且つ活動や支援に役立てようと、ピンクッションやヘアピン、布小物などを手仕事の好きなメンバーで作り、販売しています。手芸の好きな方のご参加をお待ちしております。



# 自然エネルギー勉強会

エネルギーの地域自給を目指し、毎月最終日曜日に、自然エネルギーに関する勉強会を行っています。全国各地の、先進的な取り組みを行っている方に講師をお願いし、一人一人にできること、地域でできることを考えています。

<これまでに開催した勉強会> \*詳しい内容・資料はホームページをご覧ください



\*2011-5-29 第1回 「一人一人にできる自然エネルギーへの取り組み」

ワーカーズコープエコテック 宮下洋一郎さん

\*2011-6-26 第2回 「地域でのエネルギー自給を進める

「ちがさき自然エネルギーネットワーク」の取り組み

ちがさき自然エネルギーネットワーク (REN) 上野ひろみさん

\*2011-7-31 第3回 「人まかせになった生活を自分たちの手に取り戻す」

国際NGOソーラーネット代表 桜井薫さん

\*2011-8-28 第4回 「市民共同発電所の設置を進める

「埼玉お日さまクラブ」の取り組み

埼玉お日さまクラブ 脇坂純一さん

\*2011-9-25 第5回 「菜の花エコプロジェクト埼玉の取り組み」

NPO菜の花エコプロジェクト埼玉 榊原京子さん

\*2011-10-30 第6回 「新エネ百選にも選定！

環境立市秩父 吉田元気村の取り組み」

秩父市環境立市推進課 大野輝尚さん

\*2011-11-26 第7回 「バイオガスプラントを活用した生ごみ資源化事業を行う

埼玉小川町「NPOふうど」の取り組み

NPOふうど 桑原衛さん

\*2012-1-29 第8回 「自然エネルギーを復興の柱に！

つながりぬくもりプロジェクトの今」

桜井薫さん

## 代表よりひと言



昨年の福島原発事故は取り返しのつかない汚染を世界中に広げてしまいました。これ以上、こうした汚染を広げないように、そして子どもたちや将来の世代が、安心して暮らしていけるように、今を生きる私たちが、足元の暮らしに、足元の地域に目を向けて、行動していきたいと思っています。

日高ぐるくるねつでは今、赤ちゃんから年配の方まで30名ほどが、それぞれの立場でできること、やりたいことに取り組んでいます。この案内をお読みくださった皆さんとも、ぜひ一緒に何か始められたらと思っています。

\*連絡先\* 地域循環型の暮らしを進める日高市民の会(通称:日高ぐるくるねつ)

〒350-1252 日高市清流 117 TEL&FAX:042-982-5023

E-mail: [kurukuru\\_hidaka@yahoo.co.jp](mailto:kurukuru_hidaka@yahoo.co.jp) HP:<http://kurukuru-net.jimdo.com/>

